

## 聖書預言アップデート

次に起こる事を知る 2020.01.05

<https://www.youtube.com/watch?v=DeurlllZipA>

今朝、私は起きたわけですが、毎週の日曜日と同じように、目覚まし時計が鳴ると、「ああ主よ。まだ起きたくありません」と言います。もうちょっとだけ眠りたくて、皆さんと同じように、スヌーズ・ボタンを押します。今日、ゆっくり寝ていられたら最高だなと思うのですが、主が思い起こさせてくださいます。私が牧師であり、教会に行かなければならない、と。そういうわけではしばらくの間、祈って、先週起こったことについてお話しすることに決めました。アメリカによるイラクのバグダッドの攻撃に関する 木曜日の突然のニュースです。私はすっかり聖書の学びをするつもりでした。ちなみに、私たちは、第一テサロニケの第4章を学んでいるところです。そして私はすっかり、今日は9節から12節までを 教えるつもりでいたのですが、起こったことを考慮すると、 預言アップデートを 大急ぎで片付けたくありませんでした。それから今日は、特に、私たちの聖餐式を 急いで終わらせたくありませんでした。第一日曜日ですから。そしてこれは、今年初めの聖餐式ですし、主が私に聖餐式にふさわしいと思われる言葉を くださいました。オンライン教会の皆さんに 申し上げたいのですが、残念ながら、私たちは預言アップデートの後聖餐式の前の賛美の曲を含めることができません。それで、私たちがアップロードする この預言アップデートのビデオに 聖餐式を含めることができません。なぜなら、イエスを必要としている 貪欲な罪人たちがいて、著作権を主張して、私たちのビデオに広告を載せ、 収益を得ようとするからです。私たちが公用の曲を使用しようとした時でさえも、彼らは著作権を申し立てようとしてきました。私たちは抗議しましたが、30日間かかるので、私はそれを容認できません。そのため、私たちは預言アップデートの終わりでビデオを止めます。その後、教会として一緒に聖餐にあずかります。残ることのできる方々は、 どうぞお残り下さい。オンラインの方々には...皆さんがご存じかどうか分かりませんが、世界中で3~4千人の人たちが、私たちがYouTubeにアップロードするビデオを通して、 私たちと一緒に聖餐にあずかっています。彼らは聖餐式が毎月第一日曜日であるのを知っていて、パンとワインを用意しています。素晴らしいことですよ。それで、私たちはそのビデオを別にアップロードすることにします。ですから、聖餐式もアップロードされます。

では、始めましょう。皆さんが知っての通り、今日は盛沢山です。間違いなく、皆さんはもう 耳にされていると思いますが、まだこのことを耳にしていない方々に申し上げたいのですが、 これは「大きい」です。これは「でっかい」です。 それですら、ある意味では控えめな表現です。皆さんはこの大使館の攻撃のことを聞いておられると思います。イラクのアメリカ大使館です。その大使館はイラン人によって攻撃されました。私たちのこのアメリカ大使館の攻撃のかじを取っていたのは、カセム・ソレイマニ司令官でした。さて、アメリカ合衆国大統領は攻撃を命じ、木曜日に、彼と他の者たちを殺害しました。これは、私に言わせれば、 驚くべき展開で、今日、私たちの預言アップデートでお話しするために、 必要な時間をとっていいものだと思います。主のみこころであれば、来週、第一テサロニケの学びを再開します。ところで、私は第一テサロニケを すごく楽しみにしています。と言うのも、これがすごく奥深いことなのは分かっていますが、主のみこころであれば、来週、9節から12節を学びますが、その後で、9節から12節のあとに何が来るか、 ご存じですか？繰り返しますが、 すごく奥深いことなのは分かっています。第一テサロニケ4章の13節です。それからその章の残りに続いていきます。 何について書いてあるか、ご存じでしょうか？ネタばれですが、イエス・キリストの教会の携挙について、パウロがテサロニケの教会に宛てて書いています。繰り返します。 主のみこころであれば、私たちは テサロニケの学びを来週再開します。今日私がしたいのは、先週、中東で起こったことの預言上の重要性についてお話しすることです。さらに、私はまた、二つの質問に答えたいと思います。最初の質問は、だれもが尋ねているもので、これから何が起こるのか？次に何が起こるのか？二つ目に、そして、もっと重要なことには、具体的に、今日ここで私たちに関係して、これは何を意味するのか？

明日の朝、あなたの目覚まし時計が鳴る時、これは何を意味するのか？私のは月曜日の朝は鳴りません。月曜日はちょっとゆっくり寝ることにしていますから。だから、私は皆さんのことを考えているんです。明日の朝のことで。これはあなたにとって、何を意味しているのでしょうか？明日の朝、目覚まし時計が鳴って、皆さんは普通通りに一週間を過ごします。皆さんの中には、お仕事に行かれる人たちもいますね。いつものように。これはあなたにとって、何を意味しているのでしょうか？これらが、私が今日この時間の終わりに 答えたいと思っている質問です。このフォックス・ニュースの報道から始めます。トランプ大統領が、アメリカ軍による、形勢を一変させる攻撃を命じたことについてです。それは、イラン革命防衛隊「コッズ部隊」のソレイマニ司令官と、他の軍当局者たちを殺害しました。金曜日の早朝、バグダッド国際空港でのことです。私は、できる限り、この人物が何者であったかをよく知らない方々のために、これを大局的に見てみたいと思います。この人は悪人でした。私は、何年も彼のことを追ってきました。ソーシャルメディアで フォローしているのではないですよ。でも、私は彼のことを何年も追ってきました。この男の手形はシリア、私の生まれたレバノン、ごく最近ではイラクに残っています。彼は、イラン最高指導者アーヤトラー・ホメイニーに次いで、イランで最も権力のある人でした。イラン大統領のロウハニーよりも権力がありました。こんな言い方ができるとすれば、これは大きな収穫でした。そしてこれは、イラン人に衝撃を与えました。中東全体にもです。フォックスを引用すると、「彼らの死は…」これは面白いですよ。これもまた控えめな表現かもしれませんが。「中東において転機点となった可能性がある。」私だったら、敢えて、限界点と言いましょ。

「そして、イランや、それが中東で支援してきたイスラエルやアメリカの利益に反する勢力からの、激しい報復を引き起こすことが見込まれている。」おそらく、皆さんに思い出してもらうために、補足的に言うには、今が一番いい機会でしょう。イランイスラム共和国に関する限り...どうか、その政権とイランの民衆とを区別してくださいね。これは重要なことです。お願いします。区別してください。私たちがイランの話をする時、イランの民衆のことを話しているのではありません。事実、これが起こった時、イランには 喜んでいる人たちがいたんです！祝っていたんです。このことは以前にもお話ししました。ここでは決して報道で聞くことはありませんが、今日のイランでは、神が動かされていて、イランの人たちが イエス・キリストを知って救われていることに お気づきですか？大勢で。大勢で。そして彼らは見つかった時の死を恐れて、隠れます。知ってますか？今日のイランでは、イスラム教徒がキリストを知って、生まれ変わり、救われます。もし彼らが見つかったら、それまでです。彼らは殺されます。ところで、イランで、彼らが友達を招いて、地下教会に連れて行こうとするとします。

そしてそれが見つかったら、彼らはもうおしまいです。殺されます。それについてじっくり考えてみてください。それが今日イランで起こっていることです。ですから、私とその政府のことを話す時、私はイランの人々のことを含めてはいません。むしろ、イランイスラム共和国と、最高指導者ホメイニーのことです。皆さんはお分かりですか？彼らの考えでは、アメリカは大サタンで、イスラエルは小サタンです。そして彼らは唱えます。やはり、イランイスラム共和国のことですが、「アメリカに死を」「イスラエルに死を」その順序です。なぜか？なぜなら、まず、アメリカが消えなくてはなりません。

それは、アメリカが消えてしまえば、私たちが今日のように、イスラエルの防衛に來れないためです。ですから、まずは、「アメリカに死を」イスラエルを防衛し、支援するアメリカがいない。アメリカが死んでしまえば、その後は、「イスラエルに死」です。ですから、この指導者が今この時に、このような形で、この政権によって 殺害されたことは、考えられないことです。再びフォックスからの引用です。「その夜間の攻撃は、イラン支援の民兵組織がバグダッドの アメリカ大使館を襲撃した後の アメリカとの緊張の中で起こりました。」皆さんが私が見たのと同じ ニュースの報道をご覧になったか、私の受けたニュースフィードと 同じニュースフィードを受けられたか 分かりませんが、かなり強烈な映像です。多くの人たちはベンガジのことを 思い出していました。ただ、一つ違っていることがありました。これはベンガジと同じではありません。彼らはそれと同じようにしようと 試み

てみましたけど。しかし、この大統領とこの政権は 行動を起こしました。何がおもしろいか、知ってますか？イランは彼が動くとは思いませんでした。それは間違いでした。

「それは最近の米国による空襲に抗議し、怒った群衆によって、火曜日に標的となりました。」

これはソレイマニの手によるものでした。彼はこれを画策し、演出し、計画しました。実際、イラクの米大使館の外の壁には、アラビア語で、これはイランではありません。イラクでのことです。それをちょっと覚えておいてくださいね。すぐにその話に戻ってきます。アラビア語で次の言葉が書かれています。「ソレイマニが我々の指導者だ。」私はソーシャルメディアでいくつかの投稿を見ました。まあ、たぶんその話をする必要はないでしょう。非常におもしろいです。大統領のものだったかもしれません。次回、私たちの大使館の壁にあなたがたの指導者の名前を書く時はよく考えて。我々はそれに対処するから。あれは聖化された、そのう...驚くべきことではないのですが、これはイランの憤りを増しました。繰り返しますが、彼らにとって、この殺害は考えられないものです。こんなことが起こるとは、彼らには想像もつきませんでした。このソレイマニは、色々な国々を行き来して、言ってみれば、いいところを見せていました。彼には自由に行き来する権利がありました。イラクにも、シリアにも、ちなみに、シリアのことももう少しでお話ししますよ。それで、彼は要するに狙われて、取り除かれました。そしてイランは今日、私が思うに、まだショック状態にあります。アル・アラビアによると、イラン大統領のハサン・ロウハニは、こう発言したと言われます。「イランと当地域の自由国は、アメリカ合衆国に報復する。ソレイマニ殺害と、イラン支援の民兵組織の副司令官の殺害に対して。これについてはあんまり報道されていませんが、これも大きな収穫です。アブ・マフディ・アル・ムハンディスです。彼は、ソレイマニと並んで、ナンバー2の責任者でした。画面で写真をお見せしようと思いますが、どうか、知っておいてください。私はこれを皆さんに見せることで、決して、恐れさせたいと思っているわけではありません。むしろ、ただこれが深刻なものでありえることを示したいだけです。これは深刻です。私たちが今日、時間を割いている理由はこれです。これを聖書的、預言的観点から取り扱うためです。私は先日 考えていたんですが、私たちは時々、コメントをいただきます。本当は、頻繁に。「あなたは政治に関心がありすぎる。」「あなたは政治的すぎる。」それに対して私はこう言います。「いいですか。これは聖書的なのです。」これは聖書的なんです。政治的なものが聖書的なものになる時、どうなると思いますか？私たちはそれについてお話しします。なぜなら、聖書のほぼ三分の一は、預言だからです。気づいてましたか？知ってました？聖書の三分の一は預言です。聖書預言のこととなると、神は 私たちが無知であることを望まれません。神は、私たちが承知していて、知らされていることを望まれます。だから、神はそれが起こる前に、何が起こるかを私たちに告げられるのです。それは、それが起こった時に、私たちがこうするように。

「よし、それが起こった。すごい、ここに書いてある。神はそれが起こると言われた。」

「そうだ。そしてこんなことが起こってる。神はこれが起こると言われたんだ。」

「ほんとだ。そしてあれが起こってる。ほんとだ、ほら、ここに。神はそれも起こると言われた。」

「それは、まさに私たちに『そうなる』と告げられた通りに、起こっている。」

では、この赤い旗は何でしょう？それは、イスラム教シーア派の赤い旗です。ちょっと言っておきましょう。サウジアラビアにはイスラム教スンニ派がいて、イランにはイスラム教シーア派がいます。

これはイスラム教シーア派の赤い旗で、これが伝統的に象徴しているのは、流血の復讐の必要性です。

戦の旗のようなものです。中には、こう提案している人たちもいます。歴史上、初めて、イランのこのモスクで、この旗が掲げられた。さらに興味深いことに、多くのイスラム教シーア派の人たちが信じているところでは、第12代イマーム、またはマフディー、これはハディース（イスラム教の預言者ムハンマドの言行録）に書かれているイスラム教の救世主ですが、イスラム教に救世主がいるのを知ってましたか？彼らはその救世主を待っていて、それは彼らの書に従って来なければなりません。そして、このイスラム教の救世主、このマフディーは、西側諸国との間に

戦争と混乱があるまでは、 来ることができません。ああ、面白いですね。この赤い旗ですが、今や掲げられたこの赤い旗は、イラン人、イスラム教のシーア派教徒たちに 次のことを警告するため、準備を促すためのもの と考えられます。戦争が起ころうとしていること、そしてイスラム教の救世主、マフディーが 現れようとしていることです。

イギリスのサン紙によると、これは非常事態です。激しい戦いが来ることを示唆する旗。イランは、アメリカ35か所の標的を 攻撃することを誓った。戦の赤い旗を広げて。アメリカは数週間以内の報復を 見込んでいっていると言う。ごきげんよう。お元気で。私がこのことを息子に話していると、息子は 「ハワイはその標的の35か所に入っているの？」 と言いました。たぶんね。私には分かりません。でも、関係ありません。どうしてか、もうすぐご説明します。私は、よくやるように、ツイッターフィードを スクロールしながら見ていたら...私はそうする前に祈らなければなりません。なぜなら、多くの皆さんと同様に、 ソーシャルメディアを見ると、崇高ぶって私のことを見ないでくださいね。皆さんも私と同じことをするのですから。まあそれは、すごい誘惑で、肉に従いそうになります。それらの投稿のいくつかを見たら、手が震え始めて、磁石がスチールに引き付けられるように、 キーボードに向かいます。ちなみに、私は一分間に60語タイプできるんですよ。ホントですよ。私は学校でタイピングの授業を受けたんです。私はもう手書きすることさえありません。最近、何か手で書かなければならないことがあって、自分の字を見て、思いました。「書き方を忘れちゃってる。」何でもタイプしますから。今、話が逸れて行ってるのは分かってるんですけど、我慢して聞いて下さい。特に若い皆さんは。不公平なんです。私たちはタイプの仕方を習いました。そうですよね？皆さんはこんなデバイスを手にして、 こんな具合にやります。親指を使って。私はこっちでこんな風にやっています。 デバイスを使って。 だから私はコンピュータを使うんです。とにかく、磁石がスチールに引き付けられるように、 私の指がこんなに...「それは言っていないぞ!」「もちろん、言えなくはないよ。」私たちがみんなが見たことのあるイメージみたいです。悪魔が片方の肩の上に現れて、赤いフォークを持っていて、 タイツを履いて、角が生えて...ちなみに、悪魔はそんな姿じゃありません。でも、そいつがここにいる、「そうだ、やれ!やれ!やれ!」私の肉はそれが大好きです。「そうだろう。」そして、こっちでは聖霊が、「やっちゃだめだ。やっちゃだめだ。」そしてただ皆さんに知ってもらいたいだけなんですけど、私は先週、勝利しました。

先週です。先々週の話は、話したくありません(笑)とにかく、私はツイッターフィードを スクロールしながら見ています。すると、はたして、トランプ大統領がイランのこの脅迫に reacting、 ツイートします。その脅迫とは、具体的に35か所を標的にするというものです。当然、トランプは介入します。そして彼はツイートして言います。引用します。

「イランは、アメリカの特定の資産を 標的にすることについて非常に大胆に語っている。我々が、彼らのテロリストリーダーを 世界から取り除いたことへの報復として、だ。彼は一人のアメリカ人を殺害し、他に多くの人たちに重傷を負わせたばかりだった。彼がその生涯にわたって殺してきた人たちのことは 言うまでもない。最近では何百人ものイラン人抗議者たちが含まれている。」

ところで、この男は、たくさんの人たちを殺してきました。再びトランプを引用します。

「彼はすでに我々の大使館を攻撃していた。それから、さらに別の場所でも攻撃を準備していた。イランは長年の間、問題でしかなかった。これを警告とせよ。」

「警告(WARNING)」が大文字で書いてあります。これ、結構好きです。やはり、聖化的にですけど。

「もしもイランがアメリカ人やアメリカの資産を 少しでも攻撃するなら、「我々にも標的がある。」

トランプは絶対に引けをとりません。「君らは35か所を標的にしたって?」「ああ、そう?」

すみません。許してください。私は大統領のこういう所が大好きです。35? ブーン!俺たちは52か所を標的にする!どうだ!?なぜか知ってますか? 括弧の内容です。

(それは、何年も前にイランが人質にとった 52人のアメリカ人を象徴している。)

あーあ。覚えてますか？いいですねえ。そのようなことを象徴する数字が割と好きです。特に、これは。そこで彼は言います。「我々はイランの52か所を標的にした。中には、とてもハイレベルで、イランとイラン文化にとって重要な場所も含まれている。そして、それらの標的およびイラン自体が...」

ーここからは全部大文字です。ー「迅速かつ激しく攻撃される。」「アメリカ合衆国はこれ以上の脅迫を望まない。」よくやった、アメリカ合衆国大統領！どうですか？いいですね？私には、彼らがイランでこう言っているのが聞こえます。「この大統領はオバマと違う。それについては、ちょっと時間を差し上げましょう。彼には1億5千万ドルを送る計画はないと思います。現金で。飛行機で。木枠に乗せて。私たちに。当分はないでしょう。彼は私たちに何か別のものを送ってくるかもしれません。でもそれではありません。イスラエルのお話をしましょう。皆さんが想像されるであろう通り、イスラエルは、これをとても注意して見えています。明白であると考えられる理由で。彼らはイランの報復に備えています。Yネットニュースによると、

「IDF (イスラエル国防軍) は、国境沿いの地域で 高度の警戒態勢に入っている。イランと提携するグループによる報復を懸念している。ハマースとヒズボラである。皆さんは理解しなければいけません。

ヒズボラとハマースは、イランの手の指みたいなのです。彼らはすべてを動かします。これらのテロ組織の背後にあるのは、イランなのです。Yネットの評論家ロン・ベン・イシャイ氏が次のように提案しました。引用です。

「彼らは復讐をするための 絶好のタイミングを待たせよう。おそらく、シリアのシーア派民兵組織を通してイスラエルの領域内に砲撃することによって。」シリア？「そしておそらく、ガザ地区からさえも。」金曜日に、エルサレム・ポストは、ネタニヤフがアテネからイスラエルに 帰国したことについて記事にしました。安保上の理由によるものです。彼は実際に、その旅を短く切り上げました。起こったことのためです。これは木曜日のことで、金曜日に報道されました。外務省と治安当局関係者たちは世界中のイスラエル大使館や領事館を 警戒態勢にしました。ソレイマニが殺害されたのに続いて。ネタニヤフはトランプ大統領を 称賛して言いました。引用します。

「彼は素早く強力で決然として行動し、すべての称賛に値する。」「イスラエルは、その公正な闘いにおいて 米国を支持する。それは...」注意して聞いてください。「平和と安全と防衛のためのものだ。」

私をからかっているんですか？第一テサロニケ 5:3 第一テサロニケ 4章の後に何が来るか、ご存じですか？ありがとうございます。いつものことですが、これがすごく奥深いことなのは 分かっています。第5章です。その学びをするのも待てません。携拳の前にそこまで行けたらいいと思いますけど、先のことは分かりません。とにかく、第一テサロニケ 5:3 です。使徒パウロは、テサロニケの教会に向けて、驚くべき発言をします。ちなみに、携拳についてです。パウロはテサロニケの人たちに 応答しています。

テモテがコリントのパウロとシルワノのもとに 帰ってきたばかりでした。パウロはテサロニケの人たちの様子を知りたくて、もう我慢できなかつたからです。なぜなら、彼はその町から追い出される前、おそらく3週間か4週間しか 彼らと一緒にいられなかつたからです。そして彼は、自分が始めたこの教会に戻って、自分がキリストに導いたこの信者たちを 訓練することを心から望んでいました。でも、できませんでした。そこでテモテを送ります。テモテは行って、明らかに、この報告を持って 戻って来ます。良い知らせです。パウロは、彼らが信仰において成長し、よくやっていることを、ただ神に感謝し、喜んでいます。しかし、彼らにはいくつか質問がありました。それでパウロは彼らの質問に対応します。

彼らの質問の一つは、「テモテさん、パウロにこのことを 訊いてください。」「私の母が亡くなりました。私の父がなくなりました。」「そのことは、彼が私たちに話してくれた携拳と どう折り合いがつくのでしょうか。」「とここで、考えてみてください。パウロがテサロニケにいたのは、おそらく3~4週間です。

これは新しく信じたばかりの人たちです。彼らは、この上なく「うぶ」なんです。彼らは信仰を持ったばかりで、

白紙状態です。そして、パウロは町を追い出される前に、彼らに何を教えるのでしょうか？

彼は、彼らに携挙について教えるのです。すごいでしょう？そこで彼らは、「ねえ、パウロに訊いてもらえませんか？死んでしまった私たちの愛する者たちがどうなるのか？」「それが携挙とどうかかわってくるのか？」彼らは携挙に関してこれらの疑問を持っていました。それは第一テサロニケ4章です。13節からです。主のみこころであれば、2週間後にそこを学びます。「主のみこころであれば」を強調します。私たちはその学びまで行きます。まだここにいたら。そして第一テサロニケ5:3です。彼は続けて、こう発言します。彼は彼らに言います。「人々が『平和だ。安全だ。』と言っている そのようなときに、」それら二つの具体的な言葉です。「突如として滅びが彼らに襲いかかります。」そして彼らは「それをのがれることは決してできません。」そこに暗示されているのは、「彼ら」と「私たち」の間には、違いがあるということです。聞いてください。「彼ら」ではなくて、「私たちは...」「生き残っている私たちが、...引き上げられ、」それは17節です。第一テサロニケ4章です。「私たちは引き上げられて」ところで、(嘆息) 皆さんもきっと誰かに言われたことがあるでしょう。敬虔ぶって、すごく学者ぶって。

「『携挙 (Rapture)』という言葉は聖書にはない。」いいでしょう。いいですよ、そこは譲りましょう。

あなたの聖書は何語ですか？ああ、英語ですね。あなたの言う通りです。それは英語の聖書にはありません。まあ、ロシア語の聖書ですか？ロシア語の聖書にもありません。よお、兄弟。アラビア語の聖書ですね。アラビア語の聖書にもありません。ハッハッハッ(笑) ごきげんよう。ラテン語の聖書をお持ちの方はいませんか？あーあ。友よ、こちらへ来てください。あなたの聖書を見せてください。第一テサロニケ4章17節はラテン語の聖書ではこう言っています。「ラプチュス」私たちは携挙 (Rapture) されます。英語に音訳されたものです。原文のギリシャ語では、「ハルパザー」という言葉です。

その言葉に伴う概念は、非常に突然に、大きな力で引き上げられるというものです。パウロはコリント人たちへの手紙で言っています。「一瞬のうちにです。(in the twinkling of an eye)」私は、ある聖書の教師が言うのを聞いたことがあります。これは私の思考能力をはるかに超えたものです。それは「瞬き (blink of an eye)」ではありません。"Twinkling of an eye"というものは、10億分の1秒のほんの一部のようなものだそうです。それくらい、速いんです。私たちが朽ちるものを脱ぎ、つまりそれは、私たちが古い体を脱いで、10億分の1秒のほんの一部で私たちは、新しい体を得るんです。私は新しい体が待ち遠しいです。これ(今の体)はもう、かなりの走行距離を走ってます。私はもう、新しい体を注文してあります。まず、私は髪をお願いしてあります。何よりもまず、私は髪をお願いしました。過度にふざける必要はありませんが、ですから、私たちは引き上げられて、私たちは逃れますが、彼らは逃れることはありません。生き残っている私たちは...人々が「平和だ。安全だ。」と言っている時に、突如として滅びが彼らに襲いかかります。「私たち」ではありません。なぜなら、生き残っている私たちは引き上げられるからです。これもちょっと覚えておいてください。またそのことに戻ってきますから。

こう思ってる方もいるでしょう。「やれやれ、おぼえておくことがいっぱいだ。何時になったら終わるんだ？」「さあ、二時ごろでしょうね。第二礼拝の人たちが来たら加わってもらいます。」というわけで、ネタニヤフは、基本的に、トランプ大統領がしたことを彼に感謝し、平和と安全のための我々の正義の闘いにおいてアメリカを支持する。さて、質問です。ベンヤミン・ネタニヤフ首相は、そもそも、アテネで何をしていたのでしょ。このことを聞きましたか？知ってましたか？これはすごいですよ。このことが起こったちょうどその時に、ネタニヤフがアテネにいた目的は、これは木曜日のことでした。

ギリシャおよびキプロスとの巨大ガスパイプライン協定に署名することでした。ちょっと待って。イスラエルが買うんですか？違います。イスラエルが売るんです。彼らに。ホントに？ええ。彼らはどこで石油と天然ガスを手に入れたんですか？あら、聞いてないんですか？地中海のハイファ沖で発見されたもののことを聞いてないんです

か？それはとにかく、すごく大量の石油と天然ガスで、今、彼らはそれを産出し始めています。そして、それが産出されるにあたって、それはまた、輸出されることにもなります。間違いなく、これはウラジミール・プーチンの注目をひきました。2008年まで遡らせてください。皆さんがこのことを覚えているかどうか 分かりませんが、プーチンはジョージア（グルジア）に侵攻しました。アメリカのアトランタのことではありません。あの地域のジョージア（グルジア）のことです。

なぜか？なぜなら、グルジアには、その地域に向けた 天然ガスの主要供給ラインがあるからです。プーチンはそれが欲しかったのです。プーチンにはそれが必要でした。そして、プーチンはそれを手に入れました。ですから、間違いありません。イスラエルがこの天然ガスを見つけた時...何人かの信じるところでは、それは、世界の他の地域の供給源を 小さく見せるほどだそうです。小さく見せるんです。それほど大きいのです。彼らはそれをレビヤタンと呼んでいます。それは今、産出していて、ネタニヤフはギリシャを訪れ、ギリシャおよびキプロスとのこの協定に 署名します。タイムズ・オブ・イスラエルによると、「イスラエル、ギリシャ、キプロスは、木曜日、強大なパイプライン・プロジェクトの協定に 合意しました。天然ガスを地中海東部からヨーロッパに 送るためです。にもかかわらず、聞いてくださいよ。その協定に対するトルコの反対にも関わらず。そう？その動き（協定署名）は、その地域における トルコの活動、およびリビアとの海洋協定をめぐる 緊張の最中に来た。これらの国名はちょっと聞き覚えがありませんか？そのはずですよ。もうちょっとしたら、もっと説明します。天然ガスに富む地中海の広範囲における アンカラの権利を拡大する海洋協定。いいでしょう。お付き合い下さい。私がしたいことは...主よ。どうか私を助けてください。私はこれをできるだけ単純に、完結にやりたいと思います。

特に、聖書預言をまだよく知らない方たちのために。もしかしたら、皆さんの中には、他の人たちがほどよく知っていない方がおられるかもしれません。画面に出るこれらの具体的な預言に関してです。

エゼキエル書38章 イザヤ書17章 ダニエル書9:27空所を補充するために、 ちょっと簡単に説明します。エゼキエル38章は、国々の連合に関する 非常に詳細な預言です。ロシア、イラン、トルコが指揮を執って、リビアも関与しています。それからスーダン。必ずしも、今日の国境によって知られている スーダンではなくて、古代名によるものです。それらの国はロシア、イラン、トルコと 連合するものとして挙げられており、イスラエルが持っているものを 奪うことを 唯一の目的として イスラエルに侵攻します。イスラエルは何を持っていますか？ああ、多量の天然ガス、多量の石油、それからちなみに、金もたくさんあります。ああ、それから、 イスラエルはとても繁栄しています。彼らは、全世界がうらやむ テクノロジーを持っています。彼らは、空気から飲料水を作れるんですよ。そうですよ。水です。ところで、中東で、水。 それなんです。それが問題なんです。それで、彼らは連合して、北からイスラエルに侵攻します。非常に具体的です。エゼキエル38章の詳細は... 私が今朝ここに来る前に何をしたか ご存じですか？私はエゼキエル38章と39章を もう一度読みました。それって、神の御言葉について、皆さんがこのことをご存じなのは知っていますが、聖書の文章を読むたびに、 それは生き生きしてくるんです。それは、神の言葉は生きていて、力があるからです。両刃の剣よりも鋭い。これらの詳細を見ていると、「おやまあ、なんてことだ！」 「おおっ、これはすごい！」エゼキエル38章とエゼキエル39章に 共通することは、神が、神ご自身が神であることを 宣言することです。言い換えれば、この侵略が起こる時、 イスラエルを助けに来る国はありません。神は彼らを速やかに、壊滅的に打ち破られます。24時間以内のうちに、と信じる人たちもいます。ロシアとイランとトルコ、およびその他の国々がみな、北から来る時、皆さんは彼らがどこから来るのか、 ご存じですね。シリアです。シリア。それはイザヤ17:1です。聖書預言にあまり詳しくない方たちのために 言いますが、イザヤ17:1は、シリアのダマスカスの 完全な破壊に関する預言です。あまりにも破壊されて、居住不能になり、廢墟となります。私たちが話している間にも、ロシアとイランとトルコがシリアにいるのをご存知ですか？

このソレイマニは、シリアにいました。彼はそこであらゆることをコントロールしていました。

間違いなく、ウラジミール・プーチンと一緒に。これはエゼキエル38章です。つまり、これがエゼキエル38章でないとしたら、何なのか分かりません。彼らはシリアを経由して北から来ます。イスラエルが持っているものを奪うために。そして神は、神にしかできないやり方でこの国々の連合をご自分で倒されます。では、私は、他にうまく表現できないのですが、「もっともらしく思えるシナリオ」というものを提案します。私は自説に固執しているわけではありませんが、それはますます納得のいくものとなってきました。これがその経過だろうと。ですから、最後まで聞いて下さい。私の信じているところでは、このエゼキエル38章の侵攻が起こって、この連合国が破られた後で、私はそれがイザヤ17:1の成就に続いて起こると信じています。それはダマスカスの破壊です。私はそれを「きっかけの預言」として見えています。そしてエゼキエル38章が成就されます。私が個人的に信じていることですが、大変な惨状となります。ところで、エゼキエル38章に書かれている 詳細について言うと、大地震も起こります。それは、その地域の地形を変えてしまう性質のあるものかもしれません。特にエルサレムです。具体的には神殿の丘です。岩のドームがある所です。そこが、神殿があった場所、至聖所の場所だと信じる人たちもいます。それが厳密にそこにあったのか、それとも反対側にあったのかについては、たくさんの議論があります。皆さんの中には、私たちがイスラエルに行った時に、そこを訪れた方たちもいますね。私はこれについてはお話ししたくありません。それはまた別の機会に別のお話で。ですから、この荒廃が起こり、その地域の地形に変化が起こるようです。全世界は起こったことにあまりにも唾然として、そして人々は、それが神であったことを知ります。なぜなら、イスラエルが、ニュー・ジャージーと同じくらいの大きさの このちっぽけな国がロシア、イラン、トルコ、それから彼らと同盟を組んで南から来る国々を 倒せるはずがないからです。ありえません。説明が付きません。唯一の説明は、神がそれを断言されるのですが、「そうしたのはわたしだ。」「わたしが主なるあなたの神だ。」旧約聖書全体を通して、神は頻繁に イスラエルに宣言されます。「わたしが主なるあなたの神である。」強調は「わたし」にある。なぜなら、「彼ら」はあなたの神ではないから。「あれ」もあなたの神ではない。「わたしが」あなたがたをエジプトから連れ出した、あなたがたの主なる神である。では、私と一緒にこの場面を想像してみてください。エゼキエル38章の国々の連合が イスラエルに侵攻します。彼らは敗れます。第39章で。私たちはこれについてはあんまり話しません。 私はこれに関しては非常に気を付けています。なぜなら、その聖句を... たしかエゼキエル38章の9節だと思います。いえ、39章です。エゼキエル39:9にはこうあります。イスラエルはこの国々の連合が敗れた後、7年間、その武器を火で燃やします。その聖句から、それが7年間の患難時代のことだと 想定する人たちがいます。さて、それは完全に憶測にすぎませんが、あり得ないことでもないのでしょうか。では、私と一緒にこの場面を想像してください。完全な惨害となり、世界中が、「一体どうしたんだ!?!」「何が起こったんだ!?!」そしてイスラエルはまだ立っています。そして、強力なロシア、威嚇的なイラン、そしてトルコといったような国々が、すべてイスラエルを攻めて来て、イスラエルの神によって倒されました。そして全世界は、私が思うに、この時点で叫びます。平和をもたらす指導者を求めて。平和と安全を。彼らは指導者が現れるのを請い願います。そして私は、この時点でダニエル9:27が成就されると 信じています。聖書預言にまだ詳しくない皆さん、ダニエル9:27もまた、非常に詳細な預言で、この指導者、反キリストに関するもの、彼が結ぶこの7年間の和平合意についてです。その中間点で、彼は新しく建てられた神殿で 崇拜されることを要求します。私はいつも、その神殿が和平合意に含まれると 信じてきました。イスラエルは、神殿が手に入るなら、何でもやります。だから、私は反キリストがこのオプションを提示して、こう言うと思います。「あなたたちは神殿を建ててよいが、我々には平和が必要だ。」そして全世界が彼のことを 救世主として称賛します。私はその話にあんまり 入って行きたくないのですが、私がここまでその話をしたのは、次のことを言うためです。私たちはこれらの預言、殊にエゼキエル38章について 過去1年間、実際には過去2年間話してきました。私たちはほぼ毎週、この特定の預言についてお話ししているようです。私は皆さんに告白しなければなりません。これらのことが展開していくのを見ながら、私は先週次のことを考えていました。私はいつもそれが速く起こると信じてきましたが、それがこんなに速いとは思って



いなかったことを告白しなければなりません。事態は非常に速く動いています。「あら、先生、何が言いたいのですか？」私が言っているのは、私が長年、聖書預言を研究し、教えてきた中で、私はこれまで、こんなのを見たことがありません。「『いよいよ、これだ』と言ってるんですか？」そうですねえ、それは良い質問です。訊いて下さって良かったです。そう質問してくれましたよね？私は次のように答えましょう。私は「これがそれではない」とは思いません。説明しましょう。

「これがそれですか？」これが？これがエゼキエル38章ですか？ お分かりのように、もし、これがそれだとしたら、携挙は目前に迫っているからです。いつ起こってもおかしくないのです。なぜなら、教会の携挙は7年間の患難時代に先立って 起こらなければならないからです。そうなんです。それは理論ではありません。それは教義なんです。正当な教義です。確か、2011年だったと思いますが、私は7週間にわたるシリーズをしました。なぜ、教会の携挙は7年間の患難時代の前に 起こらなければならないか。そこで、携挙が7年間の患難時代の前に 起こらなければならない、最終的に7年間の患難時代に成就することがすべて 今実現するのを私たちが目にしているとしたら、それならば、私は「そうだ、これがそれだ」と論じるでしょう。もう一歩踏み込んで、こう言わせてください。私には次のようなシナリオを 想像することができません。突然、一時停止ボタンが押されて、私たちが明日の朝目を覚ましてニュースフィードを見ると、そこにあるニュースは、イランはアメリカを脅したことを とても申し訳なく思っていて、彼らはシリアから撤退することにする。ロシアもシリアから撤退する。我々はイスラエルにある石油や天然ガスには 関心がない。すみません。私たちが悪かった。みんなで抱き合ひましょう。とてもくだらない言い方だとは分かっているんですが、皆さんはそのシナリオを想像することができますか？つまり、止めることのできない 勢いがついてるんです。すべてのことがこんなに速いスピードで 起こっている中、突然、すべてのことが減速し始めるようなシナリオを 私は想像することができません。私は、加速していくと思います。私はトランプ大統領が選ばれた後、コメントをしました。

まあ、興味深い3年間でした。とにかく、私は預言アップデートの中で、 次のようなコメントをしました。私は言いました。「アメリカ合衆国大統領としてドナルド・トランプが 選出されたことは、聖書預言を速めるだろう。」その時に私が知らなかったのは...と言うか、そうなるというのは 分かっていたんですけど、でも、私は、それがそんなに速まるとは 実際に信じていませんでした。突然、彼がアメリカ大使館をテルアビブから エルサレムに移し始めた時、ああ、何ということでしょう！彼は、現実に実行したんです。もっと近頃では、アメリカ大統領によって、ユダヤとサマリアがイスラエルに属すると 宣言されました。信じられますか？ユダヤとサマリアです。「パレスチナのものじゃないんですか？」違いますよ。ユダヤ (Judea-ジュデア) ジュー ちなみに、そこから"JEW" (ジュー「ユダヤ人」) が 来ているんです。それはJudea (ジュデア「ユダヤ」) が 省略された語なんです。ユダヤとサマリアはイスラエルの一部だ。国際社会は、「ありえない！」「こんなありえない。」ところで、最後にもう一点だけ。 それから締めくくって、一緒に聖餐を受けます。このことを考えてみてください。このことは、彼らがそんなにトランプを 取り除きたがっているのがなぜなのかを 説明しませんか？これはショックかもしれませんが、これはトランプのことじゃないんです。イスラエルなんです。アメリカのことでもないんです。イスラエルなんです。要は、イスラエルなんです。そして、もっと特定したければ、それは結局はエルサレムなんです。そしてこの大統領がこの調子でやって、やり続けたら、全世界が言います。

「この男は消えなければならない。」「ネタニヤフも一緒に。」「なぜなら二人そろって、彼らはすべて我々がやろうとしていることと反対のことをしているから。」ちなみに、聖書に書かれていることを、 彼らはやろうとするのです。「最後の」一点とは言ったのですが、 ここから「最後の最後の」一点です。これが難しい問題であることは分かっています。誰もが口にしたがらない重要な問題です。しかし、聖書預言には、アメリカは出てきません。一時は世界で最も強かった国に、 何かが起こらなければならない。そして、アメリカに何か起こるかに関しては たくさんの憶測がありますが、ある提案、シナリオは、

携挙が起こる時、それはこの国を骨抜きにし、取るに足りないものとしします。私はその説明が好きです。北朝鮮が本物の核攻撃をしかけてきて、 私たちをやっつけるのよりも、 ずっと好ましいです。それかイランでも、 誰でも... それはとてももったもらしいシナリオです。とにかく、 アメリカ合衆国は言及されていません。エゼキエル38章13節の詳細が アメリカ合衆国に言及していると 提案する人たちもいます。可能性はあります。それについて独断的になることはできません。 私たちには分かりません。では、 私たちの問いに対する答えは何でしょう？次に何が起こるのか？ 次に何が起こるかは、 私たちには分かっています。次に起こることは、 ダマスカスが破壊され、それから、 この国々の連合がシリアから、 北から イスラエルに攻め込んできます。彼らは敗れ、 世界はリーダーを求めて叫び、 そのリーダーが現れて、 7年間の和平合意がなされ、 そのタイムラインのどこかで、 私たちは引き上げられます。私たちは引き上げられます。それは筋が通っていますか？私はそう思います。それが何を意味するか、 お分かりですね？それが私たちにとって何を意味するか？明日の朝、 目覚まし時計が鳴ります。 ...私は皆さんに考えてほしいんです。それは今日かもしれません。今日かもしれません。イエス・キリストの教会の携挙が、 それほど差し迫っているということです。いつ起こってもおかしくありません。私はその「差し迫った (imminent) という言葉が大好きです。こう聞こえるから。

Imminent---Any minute--Any minute (イミネント---エニミニト---エニー・ミニット)

イミネント=エニー・ミニット=イミネントいいでしょう。

それが「最後の最後の」一点でした。そういうわけで、 2020年は、 17年になります。私たちが... いえ、 待ってください。すみません。違います。先に考えておくべきでした。 14年です。14年。14年間、 私たちはこの週ごとの預言アップデートを してきました。今年で14年です。そしてその14年のうち、 ここ2年間は、 毎回、 アップデートの終わりに、 私は、 イエス・キリストの福音で終わるのが 私の義務であると、 主から感じました。イエス・キリストにある救いです。それと、 子供のように単純な「救いのABC」による 救いの説明です。「福音とは何ですか？」福音というのは、「良い知らせ」を意味します。あなたの負債は支払われました。 あなたは自由です。それが「福音」という言葉の意味です。「何の負債？もう支払われてるって？」はい。 それはイエスが来られて、 十字架につけられ、 葬られ、 三日目によみがえられた時に 完済されました。そして、 彼は私たちのために戻って来られます。いつか近いうちに。とても近いうちに。それが福音です。では、 何が招きで、 その招きに対する 私たち一人ひとりの応答は何でしょうか。そこで救いのABCの出番です。

Aは、あなたが罪を犯し、 救い主を必要としていることを認めること(Admit) 、 または認識すること(Acknowledge)です。もしもあなたがオンラインでこのビデオを見ているなら、 あなたがこのビデオを見ているのは 偶然ではありません。なぜなら、 今日が救いの日だからです。もしかしたら、 私がお話ししたことのいくつかが、 胸にグサッと響いたかもしれません。これは、 イエス・キリストの救いの福音をもって、 神があなたに手を差し伸べられているのです。悔い改めとは、 基本的にこういうことです。あなたは自分の罪を認めます。そしてそれは考え方を變えることで、 あなたの罪に背を向け、 罪の赦しを求めて救い主に向かうことです。

### ローマ3:10

義人はいない。ひとりもない。

十分に良い人は誰もいません。あなたは善人かもしれませんが、 決して十分に良くはなれません。

ローマ3:23にその理由があります。

「すべての人は、 罪を犯したので、」

私たち一人ひとり、 全員です。

「すべての人は、 罪を犯したので、 神からの栄誉を受けることができず、」

私たちは皆、 罪人として生まれました。だから、 私たちは天の御国に入るためには、 生まれ変わらなくてはいけな

いのです。  
まず、悪い知らせからです。判決の段階とでも言いましょうか。

### ローマ6:23

罪から来る報酬は死です。

死刑です。しかし、ここに良い知らせがあります。

「しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」

それがAです。

次はBです。Bは、イエス・キリストが主であることを信じる(Believe)。

また、ローマ10:9-10にしたがって、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと信じる(Believe)。

聞いてください。「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。」

それがBです。

そして最後にCです。Cは、主の御名を呼び求める(Call)。

ローマ10:9-10は、こうも言っています。

「もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

最後にローマ10:13です。これが私のお気に入りです。全部お気に入りなんですけど、これがお気に入り中のお気に入りです。これで決定的になります。私にとっては38年前です。ちなみに、この月でした。38年前です。

### ローマ10:13

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」

私とその「だれでも」でした。38年前のこの月に。「だれでも」です。私もですから。「数人は」と書かれてなくてよかったと思いませんか？呼び求める者の「何人かは」とか、「ほとんどは」じゃなくて？「だれでも」です。私もです。私もです。「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」主の御名を呼び求め、イエスが主であることを口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたことを心で信じ、罪を告白し、あなたが神からの栄誉を受けることができないのを認めます。

お立ち下さい。賛美チームに来てもらいます。皆さんが聖餐のために残ることができれば、ぜひそれをお勧めします。あと10分くらいです。私は終わりに祈りたいと思います。よろしければ、今日はちょっと違った形で。先週起こったことの重要性を考えると、今日ここで皆さんにチャンスを与えることがやはり、私の義務であると思います。もしあなたが、一度も主の御名を呼び求めたことがなければ、今日をあなたの救いの日とするために。今日以上に良い日は考えられません。今日が救いの日。この一年の最初の日曜日、この聖餐の日曜日に、あなたが残って、私たちと一緒に聖餐にあずかるなら、何と素晴らしい機会でしょう。なぜなら、私たちがしようとしていることは、イエスがくださったことを覚えて行なうからです。私たちの救いのために、すべての支払いをして下さる上で。もしかしたら、あなたはオンラインで見られるかもしれません。そして主が本当にあなたの心に罪の自覚を与えられ、

あなたには自分がこのビデオを見ているのが偶然ではないことが分かっているかもしれません。私はあなたが今日、主の御名を呼び求めるよう、心から願います。祈りましょう。

お父様、ありがとうございます。主よ。私はあなたにとっても感謝しています。私たちにはあなたの御言葉があり、

あなたの御言葉の預言には、世の終わりには、世界がどんな状況になっているかが 私たちに示されており、私たちには用意ができ、動じないでいられます。あのラッパが鳴る時、私たちにとって それが夜中の盗人のようにならないように。主よ。あなたが起こると言われたことはすべて、今、 まさにあなたが言われた通りに実現しています。主よ。私は祈ります。あなたを知らない方たち、 あなたを呼び求めたことのない方たちが、言ってみれば、点と点を結んで、理解しますように。あなたが私たちに、何が起こるかを それらが起こる前に告げられたのは、それが起こったときに、 私たちが信じるためであるのを。そして信じる者たちは、贖いが近いのを知って、 からだをまっすぐにし、頭を上を上げるためです。主よ。あの大いなる終わりの日に、 私はあなたの御前に立って、あなたにこう言われたくありません。私ができる限りのことをしなかった、と。私に与えられていた時間とあなたが私に与えられ、私に委ねられたものを使って。御言葉を宣べ伝え、福音を伝えるために。私は自分の手に 誰の血もついていてほしくありません。ですから、主よ。 私は忠実なところを見て欲しいのです。そして私はあなたに言っていただきたい。「よくやった。上出来だ。良い忠実なしもべよ。」ですから、主よ。私はだれでも、あなたを一度も 呼び求めたことのない方のために祈ります。今日、彼らがあなたを呼び求め、 救われますように。イエスの御名によって。アーメン。アーメン。

では、賛美チームが歌をリードしてくれますから、皆さんは前にお進みください。 テーブルが三つあります。パンとワインはパッケージになっていますから、 それを持って座席にお戻りください。 私たちが一緒にいただけるように、そのまま座ってお待ちください。どうぞ。

---

メッセージby JD Farag

牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記hukuinn7